

足趾の遠位趾節間関節（DIP 関節）の癒合におけるリウマチ性疾患の影響に関する研究

研究の概要

足の指には通常3つの骨とそれぞれの間に関節（趾節間関節）が二つ（遠位と近位）が存在します。しかし、足趾の遠位趾節間関節（DIP 関節）は癒合している人がいます。もともと癒合している骨が骨折した場合、骨折なのか、本来あった関節なのか診断が難しく、手術が必要かどうかの判断に支障をきたすことがあります。関節リウマチをはじめとした膠原病や、乾癬、脊椎炎などでは、関節が傷んだ結果、関節が癒合する場合があることが知られています。しかし、足の指の関節については注目されておらず、疾患の影響は不明です。あなたの通常診療で必要に応じて撮影された足趾エックス線画像を解析することで、疾患が関節の癒合に影響しているかどうかを調査します。

将来的に、同じ疾患の方へのより良い治療の提案、管理の仕方の向上につながる可能性があります。

対象者

長岡赤十字病院で2009年から2024年に足趾エックス線を撮影された1920年から2009年生まれの患者

対象期間

本研究の実施許可日～2025年9月30日

研究方法

通常の診療で撮影されたエックス線画像を読影します。患者さんに新たな負担はありません。研究結果は、学会、専門雑誌などでの発表に使用される場合がありますが、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

新潟県長岡市千秋 2-297-1

長岡赤十字病院

リウマチ科 根津貴広

0258-28-3600（代表）